

京都のINGを
CHECK IT OUT!!
**ロコミ
情報
カタログ**



**イメージはあくまでアメリカ映画
（あるのは京都三条会商店街）**

ママチャリ行き交う三条会商店街では、店に立つのも店を覗くのも、8割がた地元のおツチヤンオバチヤンたち。なもんで、学生サンやOLサンは抜け道のごくこの商店街を疾走しているのだが、同店ができてからは多少なりともサドルから降りる若モノたちもでてきたようだ。ただしその可愛らしい外観から、いわゆるカフェを期待して足を踏み入ると、若干肩すかしをくらうかも。というのも、実体は雑貨&食料品店で、オーナーの伊藤さんが理想とするのも「アメリカの映画に出てくるような、ガソリンスタンドの脇にある雑貨屋さん(笑)」。

だから、その登場人物ぶって「スタンダードイートイン」でお茶を一杯↓手作りクッキー購入↓帰る」のが正しいお作法かもしれません。



上 伊藤さんひとりで切り盛りしているため、「忙しくなったらセルフ(笑)」方式採用中、イートインスペースはスタンドのみ
下 お菓子類はすべて手作り、ハーブティーやジャムなど、食品のセレクト基準は「京都で手に入りやすいモノ」だとか

●TOTTE トツテ

■京都市中京区三条通
猪熊西入ル御供町
075・801・0550
●11:00頃～20:00頃
火・水休



**はじめまして…ではなくとも
そのスロー懐石、初めてです**

同店から突然届いた、カフェとしての役割を封印して和懐石を始めたというお便り。これまで、ご近所にある大学職員さんやら、周辺住人さんやらから充分支持されてきたのにナゼ…?というわけで、尋ねてみれば「もともとそっち(懐石とか)の人間なんです」と宇治田オーナー。なんてことはない、元来持っていた京料理と寿司修行の経験により活かすために、あるべきカタチに収まったというわけ。が、メニューは変われど「夜は完全予約制で1回転のみ」というスタイルで、オープン以来お馴染みのスロー感もキープ。実際、営業時間めっぱい使って滞在するゲストもいて、並のカフェより居心地のいい「懐石屋さん」ぶりは、既に板についている模様。

コンクリートの質感や天井の高さなど、思い通りの空間に仕上げたために、1年余り賃貸したという



●A WOMB

ア ウーム
■京都市左京区一乗寺
樋ノ口町35-2
075-721-1357
●12:00～14:00L.O.
18:00～21:00L.O.
水・月末の火休
※夜は完全予約制
<http://www.awomb.com>



デパオクミュージック in プラッツ近鉄! 場所はプラッツ近鉄 屋上 日時: 4月9日(土) 13:00～18:00 ※雨天時 4月10日(日)に順延 入場無料 出演: メキシコタクシー、ロポピッチャー ザパハトルテ、ニーハオ1、キッサコ



INFORMATION

**デパートの屋上から生まれる
一番空に近いフェスティバル**

このコンクリートジャングルに残された最後の隠しノンビ&ノンキ空間といえはデパートの屋上・通称「デパオク」でしょう。かつては子供の楽園、現在はサボリーマンの聖地として君臨する「デパオク」。しかしそれでいいの? いや! よくない! 「デパオク」はやっぱりみんなの憧れの場所、刺激的で、いつも世界を挑発するエネルギーを発して欲しい! と、京都のカルチャーフリーパーバー「SCRAP」がデパオクでライブイベントを開催。京都音楽シーンの最先端を行くロポピッチャーをはじめ、豪華な顔ぶれが出演予定。クリエイターズバリアも開催されて、あらゆるカルチャーを先取りの、このイベント。これを契機に京都のニューカルチャーはデパオクから発信される、かもしれない。

**●デパオクミュージック
in プラッツ近鉄!**

場所はプラッツ近鉄 屋上
日時: 4月9日(土) 13:00～18:00
※雨天時 4月10日(日)に順延
入場無料
出演: メキシコタクシー、ロポピッチャー
ザパハトルテ、ニーハオ1、キッサコ
【問い合わせ先】
にしき屋 075-211-4879
<http://www.scrapmagazine.com/>



昨年11月にセカンドミニアルバム「透明ランナー」を発売したばかりのロポピッチャー。「デパオクでライブをするのが子供の頃からの夢でした!」というメンバーも高合十分。人間の夢が叶う瞬間を目撃せよ!



**オトサマたちを応援してます
だから焼酎飲み放題でどう?**

4月から心機一転、未知の土地で新生活を始める場合には、何かと不案内な自宅まわりや帰宅途中に、自分のアンテナにひっかかるような店がないか開拓するのもまた楽しい作業。そんな酒飲みオトサマたちが、毎夜一人、また一人と吸い込まれていくビル奥で密やかに繰り広げられているのが、2時間2000円で焼酎飲み放題のありがたきおともなしコース。お小遣いのやりにくく四苦八苦しているからこそ、「も」と以上のモンはとる! とついつい鼻息も荒くなるというもので、大概の人が「ホントにもと以上はとっていい(笑)」というから遠慮は無用というわけ。慣れない環境で否応なく感じるストレスは、焼酎片手に小出しで発散、が健全なお姿かと。



**●浜茶屋
はまぢや**
■京都市北区西大路今出川西入ル
ジュノービル1F
090-1900-7979
●11:00～24:00/日のみ完全予約

グラス400円という焼酎。件の飲み放題コースは4月28日までの期間限定





ディスプレイプロデューサーは深堂信也。花の日本美にかける岡氏のディスプレイをお楽しみに。

「Kasui」×「SAKURA」 花穂で花見せえへん？

ただの花見はつまらない！
期間限定、夜桜舞うKasui



定例イベント「Kasui Party」など、数々のエンターテイメント&サプライズを発信し続け、もはや「食」の器に収まりきれない「花穂」がこの時期だけのスペシャルリニューアルを敢行。4月23日までの期間限定で店内が桜に埋め尽くされるこの企画。なんと造花ではなく本物の幹・枝を使った桜をディスプレイ。ツボミを開き、咲き誇り、そして散る。その短命な花の儚い日本美は、やはり本物でしか感じられないはず。人でこった返す屋外の花見も悪くはないけど、ラジグジュアリーな空間で演出された夜桜を愛でることのできる花見は、ここだけのもの。「ちよっとええ花見スポット知ってんねん」と誘い出す最強の切り札、いかがですか？

●花穂 Kasui カスイ

■京都市中京区錦薬師通高倉西入ル南側 日昇ビル1F
☎075・257・2080
●17:00～翌1:00(フードL.O.23:00, ドリンクL.O.24:30)
第2、第3火休
<http://www.kasui.jp/>



本当に自分の体内もここらうと、ホントに不思議



人体標本ご一行様、 おいでやす 初の京都展は 医学史展も併催



誰もが持っている身体なのに、ほとんどの人がその中身をよく知らないまま生きている。それでは毎日お世話になっている内臓さんや筋肉さん、血管さん達に失礼では？ という訳で日頃の感謝を込めて見に行きたいのがこの「人体の不思議展」。展示される人体標本はプラスチックという特殊技術により、人体内部が生前とほぼ同じ弾力性で、一部の標本は実際に触ってもOK。骨格や筋肉のほか脳ミソも生体器までバ

色っぽいなじみ、うっとりするような顔も、実はこうなっているのです。日本初の人体解剖は京都で行われたそうで、併催の「京都の医学史展」もお見逃しなく



●特別展「人体の不思議展」

～併催「京都の医学史」展～

じんたいのふしぎでん

会場：京都文化博物館4・3階(京都市中京区三条高倉)
期間：4月2日(土)～5月22日(日) / 月休
時間：10:00～18:00(最終入場17:30)
入場料：一般1400円、中高生700円、小学生400円

■問い合わせ先■

人体の不思議展会場事務局 075-229-6280(開催期間中)
人体の不思議展事務局 03-5439-4590
<http://www.bunpaku.or.jp/>
<http://www.jintai.co.jp/>



花柄レースやロープ使いでキワどい可愛さを狙う「OUTRI」。ロック&バンクテイストを追った「STROKE」。今季は裏面のスウェットのみで「BADGE」も新登場



独自のセンスがますます加速する、 オリジナル9ブランドに注目！

伝統と新しいモン好きが交錯する京都において、常にエッジの効いたファッションを提案してきたディバイスからトドメの一撃！イチ押しはユニセックスブランド「KADONOSHI」。モノトーンやシルバー、春らしいベールピンクといった定番色を使いつつ、ジャケットをパンツに合体させて遊べるセットアップをはじめ、ディバイスを象徴するような独創



店舗2階の壁画、イラストレーター・中川寛夫氏によるウォールペインティングも超ド級のインパクト

●device. ディバイス

■京都市中京区寺町御池下ル下本能寺町519
☎075-213-7707
●12:00～20:00 / 無休

